

新しいまちづくりの計画 第⑥期上土幌町総合計画の策定作業を進めています!

行政区 団体 ふるさと会 応援人口

まちづくりアンケート結果報告

先月号に引き続き、「第6期上土幌町総合計画」策定のために実施したアンケートの結果をお知らせいたします。

今月号は、行政区を対象とした「まちづくり行政区アンケート」、町内で活動をしている各種団体を対象とした「まちづくり団体アンケート」、ふるさと会会員を対象とした「ふるさと会まちづくりアンケート」、ふるさと納税をしていただき、本町に関心を持っていただいている方を対象とした「応援人口まちづくりアンケート」の結果について、お知らせいたします。

このアンケート結果は、計画策定の参考として活用させていただきます。

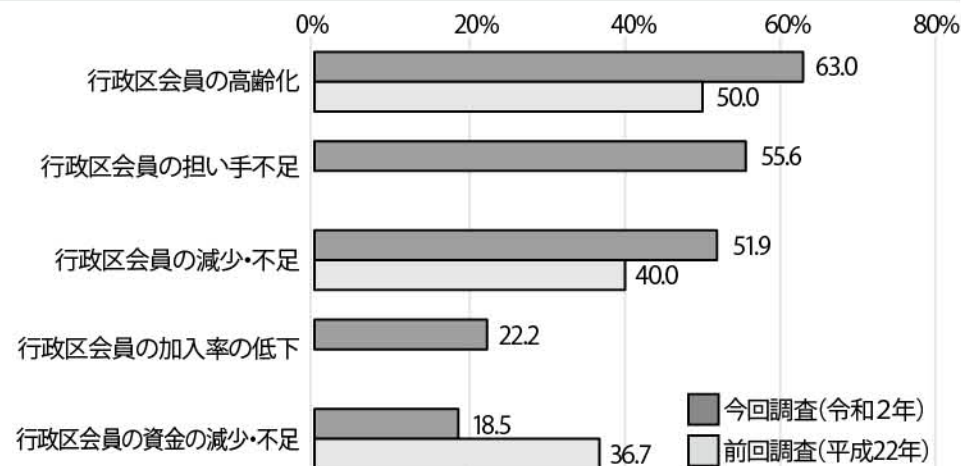
行政区アンケート結果

◆調査方法 郵送
◆回収状況 配布数50票、回収数27票
回収率54.0% (前回57.7%)

問 困っていること、悩んでいること

「行政区会員の高齢化」と「行政区会員の減少・不足」が、前回より割合が増加しています。各地区での高齢化が進み、会員が減少している様子がうかがえます。

※今回調査では、「行政区の担い手不足」、「行政区会員の加入率の低下」を新しい選択肢として追加しています。



▲グラフ1: 困っていること、悩んでいること(行政区)

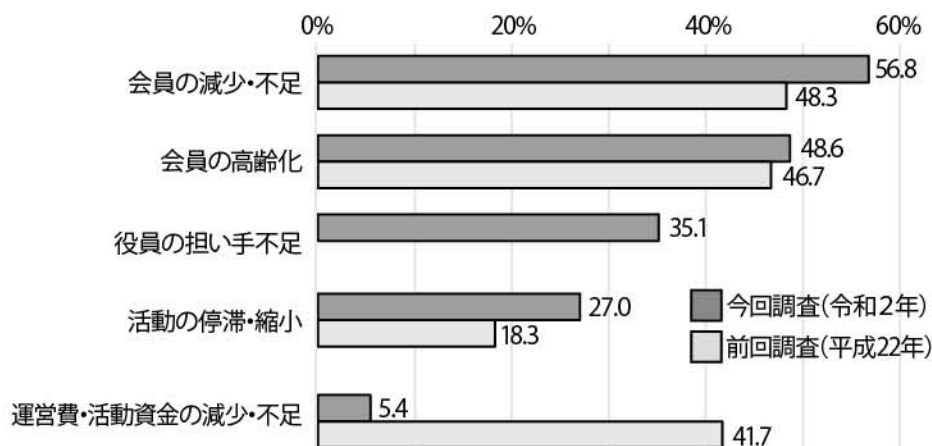
団体アンケート結果

◆調査方法 郵送
◆回収状況 配布数64票、回収数37票
回収率57.8% (前回84.5%)

問 困っていること、悩んでいること

「会員の減少・不足」と「会員の高齢化」の理由が、前回より割合が増加しています。団体の会員の高齢化が進み、会員が減少している様子がうかがえます。一方、「運営費・活動資金の減少・不足」は、前回調査よりも大幅に低い割合となっています。

※今回調査では「役員の担い手不足」を新しい選択肢として追加しています。



▲グラフ2: 困っていること、悩んでいること(団体)

千葉副町長の退任に伴い

すぎはらゆうじ

副町長に杉原祐二氏が就任しました

千葉与四郎氏が4月20日で任期満了となり、副町長を退任しました。それに伴い、4月7日開催の臨時議会で選任同意を受け、新たに前企画財政課長の杉原祐二氏(54歳)が4月21日に副町長に就任しました。

千葉副町長退任の御挨拶

副町長 千葉 与四郎



このたび、4月20日をもちまして副町長を退任させていただくことになりました。在任中の4期16年間、竹中町長をはじめ、議会議員の皆様、町民の皆様には並々ならぬご指導とご協力をいただきましたことに心からお礼申し上げます。

振り返りますと、私が就任した平成17年は、平成の大合併が全国的に進められる中、自主自律の道を決定した時期でもありました。

それは厳しい財政運営を想定した上での決定であり、ひたすら行政コストの削減を目指す毎日だったと記憶していますが、その流れを大きく変えたのが「ふるさと納税」でした。

全国からの寄付によって自主財源が拡大し、子育て支援をはじめとする様々な政策の推進につながり、本町の知名度を全国的に広げることになりました。

その後、国の方針も大きく変わり、地方創生(地方が元気になること)が自治体運営の大きな目標となりました。本町は、ふるさと納税による財源と国の制度(交付金・補助金)をフル活用して、「過疎に苦しむ町」から「持続可能な元気まち」に変貌したのです。

このような急激な進化の時代に微力ながら副町長として仕事を全うできたことは、この上ない喜びであり、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

最後に、我がふるさと上土幌町が限りなく発展することを願うとともに、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

杉原副町長就任の御挨拶

副町長 杉原 祐二



このたび、4月7日に開催されました町議会臨時会におきまして、町議会議員各位のご高配を賜りまして、21日に副町長に就任いたしました。

もとより浅学非才の身ではありますが、竹中町長の補佐役として、町政発展のため、全職員が一致協力しながら執行機関としての責務を果たせるよう全力を尽して参りたいと考えております。

町長が掲げた公約10のテーマの施策への具体化や第6期町総合計画の策定など、将来の上土幌町の方向性を定める時期でもあります。

何よりも、町民の皆様が安心、安全に暮らせる町の振興発展のため誠心誠意、全力を尽くして参る所存でございます。

持続可能なまちづくりを推進するため、町民の皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

主な略歴

- 昭和42年 3月22日 芽室町生まれ
- 昭和60年 3月 帯広三条高校卒業
- 昭和60年 4月 上土幌町役場に奉職
企画課交通防災係
- 平成11年 4月 農林課畜産係長
- 平成24年 4月 商工観光課主幹
- 平成28年 4月 商工観光課長
- 令和2年 4月 企画財政課長

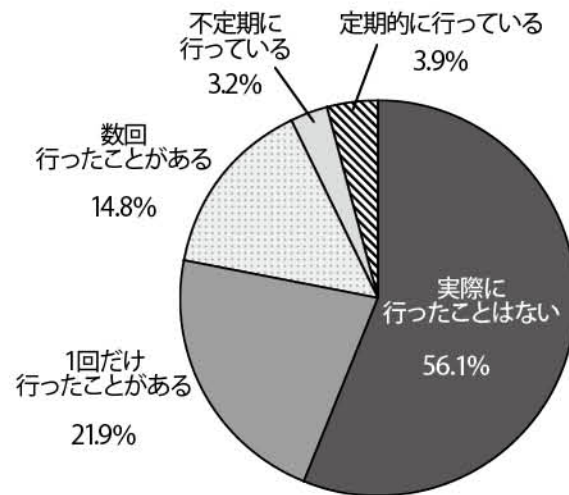
応援人口アンケート結果

◆調査方法 ウェブアンケート
◆回収状況 配布数15,769票、回収数155票
回収率1.0%(初調査)

※ここでの応援人口とは、ふるさと納税をしていただき、本町に関心をもって頂いている方(メールマガジン登録者)を指します。

問 上土幌町への訪問経験

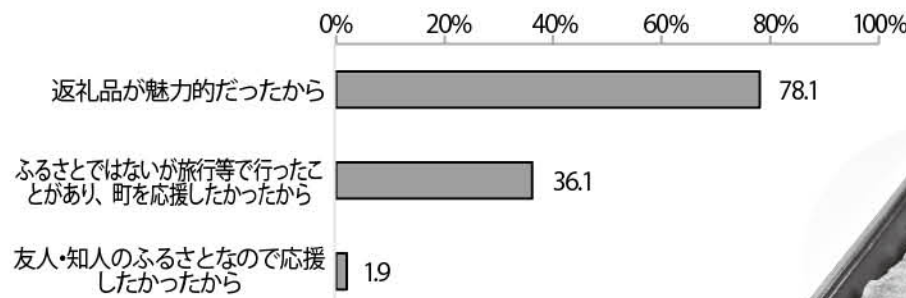
「実際に行ったことがない」が最も高く、次いで「1回だけ行ったことがある」が高くなっています。訪問した理由は、「観光のため」がもっとも高くなっています。



▲グラフ4：上土幌町への訪問経験(応援人口)

問 ふるさと納税をした理由

「返礼品が魅力的だったから」が最も高く、次いで「ふるさとではないが旅行等で行ったことがあり、町を応援したかったから」が高くなっています。



▲グラフ5：ふるさと納税をした理由(応援人口)



今後のまちづくりのアイデアやご提案などたくさんの意見が寄せられました。ご協力いただき、誠にありがとうございます。今後の計画策定の大事なご意見として、活用させていただきます。

来月の広報6月号では、「児童・生徒アンケート」の結果をお知らせする予定です。

なお、詳しいアンケート結果につきましては、町ホームページにて公開しております。

アンケート結果詳細ページQRコード▶



※お問い合わせは、企画財政課企画担当(☎2-4290)まで

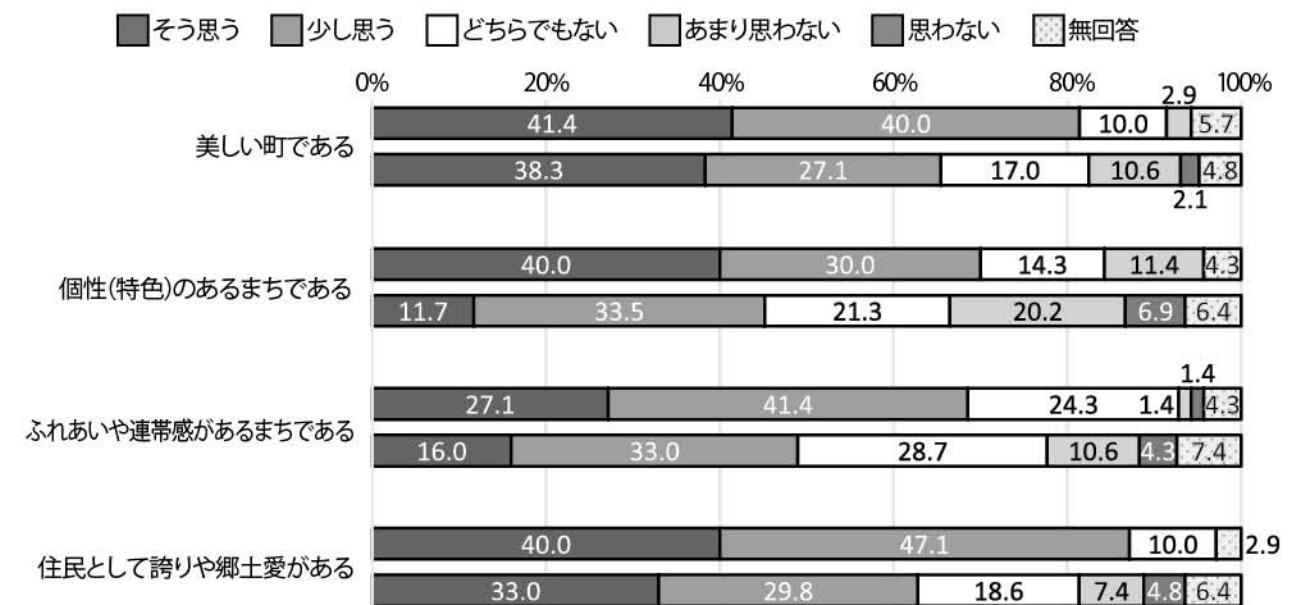
ふるさと会アンケート結果

◆調査方法 郵送
◆回収状況 配布数124票、回収数70票
回収率56.5%(前回28.7%)

問 上土幌町の印象

前回調査よりもすべての項目で、評価が増加しています。

「住民としての誇りや郷土愛がある」の評価がもっとも高く、「個性(特色)のあるまちである」は、10年前と比較して評価がもっとも高くなりました。外部から見た上土幌町は、個性があり活気のあるまちの印象へと変化しています。



※各項目の上段は今回調査(令和2年)、下段は前回調査(平成22年)

▲グラフ3：上土幌町の印象(ふるさと会)

